

ふくしまブルーリスト(侵略的外来種リスト)

(1) 哺乳類

No.	目	科名	和名	学名	特定外来生物	(環境省)生態系被害防止外来種リスト区分	国内外来種	県内分布	県内の被害状況	福島県対策優先カテゴリー	被害の深刻度に関する基準	対策事例	備考
1	食肉目	イタチ科	ミンク(アメリカミンク)	<i>Neovision vision</i> (Schreber)	○	重点対策外来種		中通りの阿武隈川流域全域にほぼ生息していると考えられる。その他、2008年のアンケート調査では、西会津町、浪江町になど、会津地方、浜通り地方にも目撃記録があるが、未確認。現認(西郷村堀川ダム、福島市濁川流域)。確実性のある記録(岩崎2007、大槻他2008、伊原他2013、福島県野生動物研究会員私信) 福島市、二本松市、本宮市、白河市、会津若松市、飯野町、郡山市、須賀川市、田村市、三春町、鏡石町、浅川町、天栄村この他にもセンサーカメラによる撮影記録などがあるが未調査。	県内で具体的な被害は確認されていないが、在来生物の捕食、漁業被害等が懸念される。	緊急対策外来種	②④		堀川ダムではウチダザリガニ駆除用のカニカゴに入った。
2	食肉目	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i> (Linnaeus)	○	緊急対策外来種		文献による記録にはなっていないが、聞き取りや各種センサーカメラのデータから、ほぼ県内全域に生息していると考えられる。確実性のある記録(大槻他2008、福島県野生動物研究会員私信) 只見町、福島市、川俣町、郡山市、田村市、三春町、南相馬市、浪江町、双葉町、大橋町、富岡町、葛尾村、いわき市)。この他にも県などのセンサーカメラによる撮影記録などがあるが未調査。	在来生物の捕食、農作物被害、家屋への侵入・糞尿被害がある他、人獣共通感染症による人への感染危険性がある。特に絶滅危惧種である両生類等への影響が危惧される。	緊急対策外来種	②③④	有害捕獲。	日本の侵略的外来種ワースト100
3	食肉目	ジャコウネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i> (C. E. H. Smith)		重点対策外来種		ほぼ県内全域に生息。狩猟統計、福島県野生動物研究会員私信などにより、ほぼ県内全域で確認。	在来生物の捕食、農作物被害、家屋への侵入・糞尿被害。	重点対策外来種	②④	有害捕獲、電気柵等による被害対策。	